

平成29年度「情報通信月間」東北総合通信局長表彰

【個人】

(敬称略:五十音順)

被表彰者	主な功績
こぐれ ゆういち 木暮 祐一 青森公立大学 経営経済学部 地域みらい学科 准教授	全国に先駆けてe-ネットキャラバンの学生ボランティア講師を養成するとともに、e-ネット安心講座への講師派遣に積極的に取り組まれるなど、青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に多大な貢献をされました。
こんどう かつゆき 近藤 克幸 秋田大学 理事・副学長	医療分野におけるICT利活用のプロジェクトに広く参画し、産学連携による医療機器の開発・実用化に取り組むなど、医療情報化の推進に多大な貢献をされました。
しば た よしたか 柴田 義孝 岩手県立大学 研究・地域連携本部 特任教授	多年にわたり、情報通信技術の利活用により地域への貢献や地域社会の活性化を図るために、地域の大学や中小・中堅企業等が提案する研究開発の推進に尽力し、地域ポテンシャルの向上に多大な貢献をされました。

【団体】

(敬称略:五十音順)

被表彰団体	主な功績
あおもり官民データ活用推進コンソーシアム (代表 まい た つよし 米田 剛)	公共データを誰もが自由に再利用できる「あおもりデータカタログサイト」を運営するとともに、オープンデータの活用アドバイザーの任命及び企業・団体の保有する情報のオープンデータ化に取り組むなど、地域の情報化に多大な貢献をされました。
岩手県 (知事 たつそ たくや 達増 拓也)	周産期超音波画像伝送システムを全県規模で整備し、リアルタイムに遠隔診断支援を可能とする周産期医療情報ネットワークを構築するなど、医療分野の情報化に先進的な取り組みをされました。
岩手県遠野市 (市長 ほん だ としあき 本田 敏秋)	医療・健康の各分野において遠隔健康相談システムなどを構築し、長期的な視野でICTを利活用した取り組みを積極的に推進され、地域の情報化に多大な貢献をされました。